

2021年度 助成校決定

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟は、アクサ生命保険株式会社の協力を得て、災害時、地域の重要な防災・減災拠点となる学校の「防災・減災教育」を推進する標記事業を実施しています。

本プログラムは①学校への助成金支援 ②教員研修会（気仙沼市で開催） ③活動報告会・減災教育フォーラム（東京都で開催）の3つの支援（機会）を提供するもので、これまで参加いただいた先生方からは、研修内容は他では経験できないものとして大好評をいただいております。

この度、別紙の通り、2021年度の助成校27校（次ページ参照）が決定しました。

全国各地でさまざまな災害リスクが高まる中で、過去最多の申請をいただきました。各学校における防災・減災教育の推進に対する意識が高まっています。

また、本プログラムのホームページ（<https://www.unesco.or.jp/gensai/>）では過去の助成校の実践活動報告もご覧いただけますので、各ユ協・クラブの会員の皆さまには、地域の学校がどのような防災・減災教育の取り組みを行っているかご覧いただき、地域と防災・減災教育を推進する学校をつなぐご支援をいただけたら幸いです。

（日本ユネスコ協会連盟 企画部 減災教育担当）

(別紙)【2021 年度 助成校 27 校】

都道府県	学校名	活動テーマ・防災・減災に取り組む背景	
北海道	根室市立光洋中学校	テーマ	避難所開設訓練を通じた二次・三次災害減災と防災に対する意識の向上
		背景	今後 30 年以内の発生確率が 80%と想定される根室沖の巨大地震と津波の被災が考えられる。
宮城	気仙沼市立階上中学校	テーマ	「私たちは未来の防災戦士」
		背景	東日本大震災で甚大な被害を受けた地区の学校。地震、津波以外にも多様な災害が起こる可能性もある。
山形	鶴岡市立湯野浜小学校	テーマ	家庭や地域社会との連携・協働を図った組織的・計画的な防災教育に関わる取組の推進～民間施設への避難訓練及び保護者への引き渡し訓練をとおして～
		背景	校舎が海岸のすぐ側にあり、地震の際は津波の危険性が高い。
	山形県立加茂水産高等学校	テーマ	学校・地域の津波防災教育の推進及び在り方
		背景	鶴岡市加茂港の隣にあり、裏がすぐ海(日本海)となっている。日本海沖地震による津波が起きた際の災害リスクが高い。
福島	いわき市立田人中学校	テーマ	地域で起こりうる災害を知り、災害への備え、有事の際の命を守る行動について学ぶ
		背景	東日本大震災の余震発生時、断層が出現。断層による土砂崩れ、地盤変形、家屋倒壊など起こった。山間部にあり、地震以外にもさまざまな災害リスクを抱える環境にある。
埼玉	新座市立石神小学校	テーマ	災害から復旧までの避難所の在り方
		背景	近くに黒目川が流れ、傾斜地が続いている。河川氾濫・土砂災害が想定される。3 年前の豪雨で避難勧告が出され、地域住民 300 名が学校へ避難した。
	埼玉県立日高特別支援学校	テーマ	離れていても学べる・繋がる～コロナ禍における肢体不自由校の防災教育への挑戦～
		背景	西側の飯能市に立川断層帯があることや関東圏内の地震想定箇所があるので、今後被災する可能性がある。
東京	板橋区立板橋第三中学校	テーマ	with コロナで取り組む板橋の減災に被災地の体験をどう生かすか？
		背景	石神井川に隣接し、北部には荒川もあり河川氾濫の際の浸水が想定される。高低差のある地形のため水害や土砂災害が想定される。
	町田市立武蔵岡中学校 (小中一貫ゆくのき学園)	テーマ	武蔵岡地域レンジャー計画～理科の授業で得た正しい知識を味方につけて、地域を守る生徒の育成のために～
		背景	学校の裏山は土砂災害危険区域に指定されている。近くの境川では、台風などにより河川氾濫が発生したことがある。
	帝京中学・高等学校	テーマ	STOP!「忘」災!!～私学の地域社会における社会的責任～
		背景	周辺が木造住宅の密集地であり、また空き家も増加傾向にあり、首都直下型地震発生時には火災に見舞われる可能性がある。
神奈川	神奈川県立座間高等学校	テーマ	カラダもココロも、みんなで守る～座間高防災ルネサンス みんなの Well-being を目指した防災文化の創出～
		背景	相模川の谷底平野に位置し、大雨による河川氾濫時には震災リスクがある。首都直下型地震が発生した場合、震度 6 が想定され家屋倒壊等の被害が想定される。
新潟	見附市立葛巻小学校	テーマ	川・いのち・つなぐ・～守る自然といのち つなぐまちの未来～
		背景	校区に信濃川の支流である刈谷田川が流れている。2004 年の水害の際、刈谷田川の堤防が切れ被害を受けた。
	新潟市立小針中学校	テーマ	生徒が主体的に課題解決に向けて探求し、地域の一員として提案、実践する防災・減災教育
		背景	近くに信濃川や西川、新潟砂丘を挟んで海に面する海岸もあり、豪雨による河川氾濫、地震による被害、津波被害のリスクを抱える。

都道府県	学校名	活動テーマ・防災・減災に取り組む背景	
岐阜	御嵩町立向陽中学校	テーマ	学校防災教育と地域と連携した減災・防災
		背景	学校がある可茂地域ではおよそ 10 年前の 7 月豪雨の際、死者・行方不明者を出し、いつ再び災害が起こってもおかしくない状況にある。東南海地震の可能性も年々高まっている。
	羽島市立桑原学園	テーマ	学校・家庭・地域の三者で学び合い。気付き、考え、実行する防災学習
		背景	東は木曾川、西は長良川に挟まれた三角州地域にある。近年の気候変動により、いつ洪水などの水害が起こるかわからない状況にある。
静岡	小山町立北郷中学校	テーマ	生命を大切にする心を育み、災害発生時に自らの確な判断をして行動できる生徒の育成
		背景	静岡県東部と神奈川県境に位置し、南海トラフ地震だけでなく相模トラフ沿いの地震被害の懸念がある。富士山噴火による溶岩流、火砕流や降灰の被害も想定される。
愛知	岡崎市立竜海中学校	テーマ	コロナ禍の防災・減災教育の推進
		背景	東海地震、南海トラフ地震の発生が想定される地域。学区内には土砂災害時の特別警戒区域、水害時の氾濫想定区域が含まれる。
三重	鳥羽市立鳥羽小学校	テーマ	「つながりのある学校防災・減災体制の構築」～命をつなぐ子 鳥羽をつなぐ子の育成～
		背景	伊勢湾の海岸線近くに位置している。南海トラフ地震発生時、避難が困難とされる 30 cm の津波が 30 分で到達する。
京都	京都府立綾部高等学校 東分校定時制	テーマ	災害時の「状況判断」「適切な対応」「危険回避」する力を育む防災教育
		背景	由良川に近接し、台風、豪雨災害により河川氾濫がおこると甚大な被害が想定される。
	京都市立京都工学院高等学校	テーマ	防災工学—セルフサポート・コミュニティサポート・パブリック・サポーター
		背景	近年の大規模な地震を経験していないが、木造密集市街地が点在し、地震による家屋倒壊、火災などの被害が想定される。学校区域内には、土砂災害警戒区域に指定されている地域含む。
大阪	大阪府立緑風冠高等学校	テーマ	自分たちの地域を考える 過去から未来を学ぶ防災
		背景	生駒断層帯があり、南海トラフ地震が起きた場合、震度 6 強をこえる大きな被害が想定される。
兵庫	兵庫県立和田山特別支援学校	テーマ	コロナ禍における防災教育の充実
		背景	土砂災害警戒区域に立地している。2018 年の西日本豪雨の際も冠水や土砂災害が発生した。
福岡	古賀市立花見小学校	テーマ	(仮) 海岸低地校における地震・津波・風水害からの防災・減災教育フィールドワーク
		背景	海拔 8 メートルの低地に立地。津波や風水害が発生すると、入り組んだ細い道など、最短で避難できない地理条件が多数ある。
	大牟田市立倉永小学校	テーマ	災害に強いまちづくりを目指して～地域と連携した防災教育の充実～
		背景	令和 2 年 7 月の集中豪雨の際、周辺の用水路が氾濫し、一時孤立状態とった。土砂災害の危険区域でもある。
	大牟田市立宅峰中学校	テーマ	家庭・地域とつながる防災・減災教育
		背景	令和 2 年 7 月の集中豪雨の際、大牟田川が氾濫し、校区南部では 1.5 メートル浸水する被害を受けた。
鹿児島	三島村立三島片泊学園	テーマ	大型台風通過に備えた防災教育(暴風・避難・土砂災害)
		背景	学校ある黒島では台風の通り道になることが多く、過去に家屋全壊・半壊させる災害が起こった。
沖縄	竹富町立古見小学校	テーマ	地域とともに考える古見地域の防災・減災活動
		背景	海岸近くに立地し、地震が起きた際は津波の危険が高い。